

# 夏休み太陽電池教室（COC+事業） ～太陽電池を作ろう～

舞鶴工業高等専門学校

実施日 平成30年7月22日

実施場所 舞鶴高専  
地域共同テクノセンター

内海 淳志  
石川 一平

## 実施内容

平成30年7月22日（日）午後に、舞鶴高専の地域共同テクノセンターを利用して、中学生向けの公開講座「夏休み太陽電池教室 ～太陽電池を作ろう～」を開催しました。この公開講座はCOC+事業の一環で行いました。担当は内海准教授、石川准教授で、この公開講座の準備と実施には電気情報工学科5年生2名と専攻科電気電子システム工学コースの2年生1名に協力してもらいました。

今回の公開講座は、太陽電池のしくみを学んで、どのようにすれば多く発電できるのかを実験で確かめることが目的でした。また、舞鶴高専で開発しているシリコン太陽電池の作製（仕上げ工程）にも挑戦しました。まず、太陽電池のしくみを学習した後、テストを使用して発電を体験しました。次に、太陽電池の準備ではんだ付けにも挑戦しました。この日は晴天で非常に日射量の高い状態で太陽電池の発電測定を行うことができました。2時間の公開講座でしたが、いろいろな体験をしながら、太陽電池に対する理解を深めてもらえたものと思います。

公開講座には、主に舞鶴市に在住の中学生10名の参加がありました。はんだ付けやテストを使った測定などで、とまどう場面もありましたが熱心に取り組んでいただき無事に講座を終えることができました。

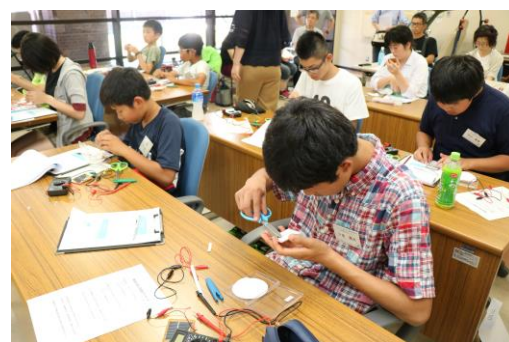
講座終了時には、「太陽電池の話がよくわかった」、「太陽電池以外の発電についても知りたい」等の言葉がありました。今回の公開講座をきっかけとして、より一層科学やものづくりに興味を持ってもらえたものと思います。



■ 説明の様子



■ はんだ付けの様子



■ 太陽電池作製の様子(仕上げ工程)



■ 作製した太陽電池の発電実験